



着信コールを処理するパーソナル着信転送 ルールの設定の管理

- [パーソナル着信転送ルールの設定について](#) (1 ページ)
- [基本転送ルールにおけるパーソナル着信転送ルールの設定の有効化と無効化](#) (1 ページ)
- [パーソナル着信転送ルール設定の使用の有効化と無効化](#) (2 ページ)
- [個々のルール設定の有効化と無効化](#) (3 ページ)
- [\[全て転送 \(Transfer All\)\] ルール設定の使用](#) (5 ページ)
- [すべての着信の Cisco Unity Connection への転送](#) (7 ページ)

パーソナル着信転送ルールの設定について

パーソナル着信転送ルールを設定すると、Cisco Unity Connection で特定の着信コールを発信者の識別情報、時刻、会議スケジュールなどに基づいて転送したり、ボイスメールや別の電話番号に転送したりすることができます。パーソナル着信転送ルールは、基本転送設定を構成できる基本的な転送ルール（標準、オプション、時間外）よりも高度なルールです。

パーソナル着信転送ルールの設定は、パーソナル着信転送ルール Web ツールで管理します。ルール設定を定義した後は、Web ツールまたは電話でルールを有効にできます（パーソナル着信転送ルール設定の使用および管理方法に関する詳細については、『*User Guide for the Cisco Unity Connection Personal Call Transfer Rules Web Tool*』を参照してください）。

基本転送ルールにおけるパーソナル着信転送ルールの設定の有効化と無効化

Cisco Unity Connection では、パーソナル着信転送ルールは、現在アクティブな基本ルール（標準、オプション、時間外）で、基本設定の代わりにパーソナル着信転送ルールを使用するように指定されている場合にだけ適用されます。

電話のキーパッドを使用した基本転送ルールでのパーソナル着信転送ルールの設定の使用の有効化または無効化

-
- ステップ1** コールをして Connection にログインします。
- ステップ2** メインメニューで、[設定オプション (Setup Options)]、[転送設定 (Transfer Settings)] オプションの順に選択します。
- ステップ3** 転送ルール (標準、オプション、または時間外) を選択します。
- ステップ4** Connection によって現在の着信転送の設定がアナウンスされたら、指示に従ってパーソナル着信転送ルールの使用を有効または無効にします。
- ステップ5** 必要に応じて、基本転送ルールごとにステップ3 およびステップ4 を繰り返します。
-

ボイス コマンドを使用した基本転送ルールでのパーソナル着信転送ルールの設定の使用の有効化または無効化

-
- ステップ1** コールをして Connection にログインします。
- ステップ2** Connection で「What do you want to do」と尋ねられたら、次のように発音します。
「SetupOptions」 (Connection が一時的に電話のキーパッドに切り替わります)。
- ステップ3** 電話のキーパッドで、[転送設定 (Transfer Settings)] オプションを選択します。
- ステップ4** 転送ルール (標準、オプション、または時間外) を選択します。
- ステップ5** Connection によって現在の着信転送の設定がアナウンスされたら、指示に従ってパーソナル着信転送ルールの使用を有効または無効にします。
- ステップ6** 必要に応じて、基本転送ルールごとにステップ4 およびステップ5 を繰り返します。
- ヒント** インプットスタイルをボイス コマンドに戻すには、「Voice Command Conversation」というプロンプトが聞こえるまで*を押し続けます。
-

パーソナル着信転送ルール設定の使用の有効化と無効化

有効化とは、基本転送ルール (標準、オプション、時間外) で、基本設定の代わりにパーソナル着信転送ルールを使用するように指定されている場合に、Connection がパーソナル着信転送ルールの設定を使用して着信コールを処理することを意味します。無効化とは、基本転送ルールでパーソナル着信転送ルールを使用するように指定されている場合でも、Connection がパーソナル着信転送ルールの設定を使用せずに着信コールを処理することを意味します。この場合、着信コールは自分の内線番号に転送されます。

電話のキーパッドを使用したパーソナル着信転送ルールの設定の使用の有効化または無効化

ステップ 1 コールをして Connection にログインします。

ステップ 2 メインメニューで、[設定オプション (Setup Options)]、[転送設定 (Transfer Settings)]、[パーソナル着信転送ルール (Personal Call Transfer Rules)] オプションの順に選択します。

ステップ 3 有効にする場合は、Connection でルールがオフであることがアナウンスされた後、着信転送ルールをオンにするオプションを選択します。

無効にする場合は、[着信サービスのオフ (Turn Call Routing Rules Off)] オプションを選択します。

ボイスコマンドを使用したパーソナル着信転送ルールの設定の使用の有効化または無効化

ステップ 1 コールをして Connection にログインします。

ステップ 2 Connection で「What do you want to do」と尋ねられたら、次のように発音します。

「SetupOptions」 (Connection が一時的に電話のキーパッドに切り替わります)。

ステップ 3 電話のキーパッドで、[転送設定 (Transfer Settings)]、[パーソナル着信転送ルール (Personal Call Transfer Rules)] オプションの順に選択します。

ステップ 4 有効にする場合は、Connection でルールがオフであることがアナウンスされた後、着信転送ルールをオンにするオプションを選択します。

無効にする場合は、[着信サービスのオフ (Turn Call Routing Rules Off)] オプションを選択します。

個々のルール設定の有効化と無効化

電話では一度に1つのルールセットだけをイネーブルにできます。ルールセットはただちにアクティブになります。Cisco Unity Connection は、ディセーブルになっているルールセットがある場合にだけ、ルール設定をイネーブルにするプロンプトを表示します。

ルール設定の無効化とは、そのルール設定をアクティブにできなくすることを意味します。Connection は、有効になっていてもアクティブではないルールがある場合にだけ、ルール設定をディセーブルにするためのプロンプトを再生します。

ルール設定が1つも定義されていない場合、またはアクティブになっていない場合、着信コールは内線に転送されます。

電話のキーパッドを使用したルール設定の有効化

ステップ1 コールをして Connection にログインします。

ステップ2 メインメニューで、[設定オプション (Setup Options)]、[転送設定 (Transfer Settings)]、[パーソナル着信転送ルール (Personal Call Transfer Rules)] オプションの順に選択します。

(注) Connection は、パーソナル着信転送ルールの設定が有効になっている場合に限り、ルール設定を有効にするためのプロンプトを再生します。

ステップ3 [着信転送のルール設定を有効にする (Enable a Transfer Rule Set)] オプションを選択します。

ステップ4 指示に従って、ルール設定をアクティブにし、ルール設定をアクティブにする日数を設定します。

ボイス コマンドを使用したルール設定の有効化

ステップ1 コールをして Connection にログインします。

ステップ2 Connection で「What do you want to do」と尋ねられたら、次のように発音します。

「SetupOptions」 (Connection が一時的に電話のキーパッドに切り替わります)。

ステップ3 電話のキーパッドで、[転送設定 (Transfer Settings)]、[パーソナル着信転送ルール (Personal Call Transfer Rules)] オプションの順に選択します。

(注) Connection は、パーソナル着信転送ルールの設定が有効になっている場合に限り、ルール設定を有効にするためのプロンプトを再生します。

ステップ4 [着信転送のルール設定を有効にする (Enable a Transfer Rule Set)] オプションを選択します。

ステップ5 指示に従って、ルール設定をアクティブにし、ルール設定をアクティブにする日数を設定します。

ヒント インプットスタイルをボイス コマンドに戻すには、「Voice Command Conversation」というプロンプトが聞こえるまで*を押し続けます。

電話のキーパッドを使用したルール設定の無効化

ステップ1 コールをして Connection にログインします。

ステップ2 メインメニューで、[設定オプション (Setup Options)]、[転送設定 (Transfer Settings)]、[パーソナル着信転送ルール (Personal Call Transfer Rules)]、[転送ルールをキャンセル (Disable a Transfer Rule Set)] オプションの順に選択します。

(注) Connection は、有効にはなっていないアクティブではないルール設定がある場合にだけ、ルール設定を無効にするためのプロンプトを再生します。

ステップ3 指示に従ってルール設定を無効にします。

ボイス コマンドを使用したルール設定の無効化

ステップ1 コールをして Connection にログインします。

ステップ2 Connection で「What do you want to do」と尋ねられたら、次のように発音します。

「SetupOptions」 (Connection が一時的に電話のキーパッドに切り替わります)。

ステップ3 電話のキーパッドで、[転送設定 (Transfer Settings)]、[パーソナル着信転送ルール (Personal Call Transfer Rules)]、[転送ルールをキャンセル (Disable a Transfer Rule Set)] オプションの順に選択します。

(注) Connection は、有効にはなっていないアクティブではないルール設定がある場合にだけ、ルール設定を無効にするためのプロンプトを再生します。

ステップ4 指示に従ってルール設定を無効にします。

ヒント インプット スタイルをボイス コマンドに戻すには、「Voice Command Conversation」というプロンプトが聞こえるまで * を押し続けます。

[全て転送 (Transfer All)] ルール設定の使用

[全て転送 (Transfer All)] ルール設定には、指定した期間内のすべての着信コールを特定の通知先に転送する1つのルールが含まれています。[全て転送 (Transfer All)] は電話でだけ設定する必要がある唯一のルールセットです。Cisco Unity Connection はルールセットを有効にして、パーソナル着信転送ルール Web ツールの [着信転送ルールの設定 (Call Transfer Rule Sets)] ページに表示します。

[全て転送 (Transfer All)] を有効にすると、ただちにそのルール設定が、指定した期間のアクティブなルール設定になります。[全て転送 (Transfer All)] の通知先で、転送された着信コールに対する応答がない場合、Connection はそのコールをボイスメールに転送します。

電話のキーパッドを使用した [全て転送 (Transfer All)] ルール設定の有効化

ステップ1 コールをして Connection にログインします。

ボイス コマンドを使用した [全て転送 (Transfer All)] ルール設定の有効化

ステップ 2 メインメニューで、[設定オプション (Setup Options)]、[転送設定 (Transfer Settings)]、[パーソナル着信転送ルール (Personal Call Transfer Rules)] オプションの順に選択します。

ステップ 3 指示に従って、すべての着信コールをボイスメールまたは特定の電話番号に転送するように設定し、[全て転送 (Transfer All)] ルール設定をアクティブにする日数を指定します。

ヒント 1日は午後 11 時 59 分に終わるため、1日という期間は当日の終わり (午後 11 時 59 分) までを指します。2日間は次の日の終わりまでを指し、以下同様に続きます。期間には 1～999 の日数を入力できます。

ボイス コマンドを使用した [全て転送 (Transfer All)] ルール設定の有効化

ステップ 1 コールをして Connection にログインします。

ステップ 2 Connection で「What do you want to do」と尋ねられたら、次のように発音します。

「SetupOptions」 (Connection が一時的に電話のキーパッドに切り替わります)。

ステップ 3 電話のキーパッドで、[転送設定 (Transfer Settings)]、[パーソナル着信転送ルール (Personal Call Transfer Rules)] オプションの順に選択します。

ステップ 4 指示に従って、すべての着信コールをボイスメールまたは特定の電話番号に転送するように設定し、[全て転送 (Transfer All)] ルール設定をアクティブにする日数を指定します。

ヒント 1日は午後 11 時 59 分に終わるため、1日という期間は当日の終わり (午後 11 時 59 分) までを指します。2日間は次の日の終わりまでを指し、以下同様に続きます。期間には 1～999 の日数を入力できます。

ヒント インプットスタイルをボイス コマンドに戻すには、「Voice Command Conversation」というプロンプトが聞こえるまで*を押し続けます。

電話のキーパッドを使用した [全て転送 (Transfer All)] ルール設定の無効化

ステップ 1 コールをして Connection にログインします。

ステップ 2 メインメニューで、[設定オプション (Setup Options)]、[転送設定 (Transfer Settings)]、[パーソナル着信転送ルール (Personal Call Transfer Rules)]、[この番号への全ての転送をキャンセル (Cancel Transferring All Calls to This Destination)] オプションの順に選択します。

ボイス コマンドを使用した [全て転送 (Transfer All)] ルール設定の無効化

ステップ 1 コールをして Connection にログインします。

ステップ 2 Connection で「What do you want to do」と尋ねられたら、次のように発音します。

「SetupOptions」 (Connection が一時的に電話のキーパッドに切り替わります)。

ステップ 3 電話のキーパッドで、[転送設定 (Transfer Settings)]、[パーソナル着信転送ルール (Personal Call Transfer Rules)]、[すべての着信を電話番号に転送をキャンセル (Cancel Transferring All Calls to This Destination)] オプションの順に選択します。

ヒント インプット スタイルをボイス コマンドに戻すには、「Voice Command Conversation」というプロンプトが聞こえるまで * を押し続けます。

すべての着信の Cisco Unity Connection への転送

すべての着信を Cisco Unity Connection に転送して、パーソナル着信転送ルールを即時に適用できます。このオプションを使用すると、応答がないときにパーソナル着信転送ルールを適用して通知先を検出する前に、内線番号が呼び出されなくなります。

電話のキーパッドを使用した Cisco Unity Connection へのすべての着信の転送

ステップ 1 コールをして Connection にログインします。

ステップ 2 メインメニューで、[設定オプション (Setup Options)]、[転送設定 (Transfer Settings)]、[パーソナル着信転送ルール (Personal Call Transfer Rules)] オプションの順に選択します。

ステップ 3 指示に従って、Connection へのすべての着信の転送を有効にし、転送をアクティブにする日数を設定します。

ヒント 1日は午後 11 時 59 分に終わるため、1日という期間は当日の終わり (午後 11 時 59 分) までを指します。2日間は次の日の終わりまでを指し、以下同様に続きます。期間には 1 ~ 999 の日数を入力できます。

ボイス コマンドを使用した Cisco Unity Connection へのすべての着信の転送

ステップ 1 コールをして Connection にログインします。

ステップ 2 Connection で「What do you want to do」と尋ねられたら、次のように発音します。

「Setup Options」 (Connection が一時的に電話のキーパッドに切り替わります)。

ステップ 3 電話のキーパッドで、[転送設定 (Transfer Settings)]、[パーソナル着信転送ルール (Personal Call Transfer Rules)] オプションの順に選択します。

ステップ 4 指示に従って、Connection へのすべての着信の転送を有効にし、転送をアクティブにする日数を設定します。

ヒント 1日は午後 11 時 59 分に終わるため、1日という期間は当日の終わり (午後 11 時 59 分) までを指します。2日間は次の日の終わりまでを指し、以下同様に続きます。期間には 1 ~ 999 の日数を入力できます。

ヒント インプット スタイルをボイス コマンドに戻すには、「Voice Command Conversation」というプロンプトが聞こえるまで * を押し続けます。

電話のキーパッドを使用した Cisco Unity Connection へのすべての着信の転送のキャンセル

ステップ 1 コールをして Connection にログインします。

ステップ 2 メインメニューで、[設定オプション (Setup Options)]、[転送設定 (Transfer Settings)]、[パーソナル着信転送ルール (Personal Call Transfer Rules)]、[すべての着信の Cisco Unity Connection への転送をキャンセル (Cancel Forwarding All Calls to Cisco Unity Connection)] オプションの順に選択します。

ボイス コマンドを使用した Cisco Unity Connection へのすべての着信の転送のキャンセル

ステップ 1 コールをして Connection にログインします。

ステップ 2 Connection で「What do you want to do」と尋ねられたら、次のように発音します。

「SetupOptions」 (Connection が一時的に電話のキーパッドに切り替わります)。

ステップ 3 電話のキーパッドで、[転送設定 (Transfer Settings)]、[パーソナル着信転送ルール (Personal Call Transfer Rules)]、[すべての着信をCiscoUnityConnection へ転送をキャンセル (Cancel Forwarding All Calls to Cisco Unity Connection)] オプションの順に選択します。

ヒント インプット スタイルをボイス コマンドに戻すには、「Voice Command Conversation」というプロンプトが聞こえるまで * を押し続けます。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。